

第7回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<高校の部 優秀賞>

『ぼちぼち』歩こう

井手菜月

私の夢は漫才師になって世界を救うこと。漫才師になることと世界を救うこと何の関係があんねん、と思うかもわからん。ちゃうちゃう、漫才師になって世界を救える。なんできて、笑いは伝播するから。私が誰かを笑わせる。その笑顔は、また誰かを笑顔にする。そしてその笑顔は…ってずっと続いていく。そしたら、ぎょうさんの人が笑顔になる。世界にはなんや難儀な問題が山ほどあるのはわかってる。せやけど、誰かの笑顔に救われる人も、ぎょうさんいてるはず。だから、私は漫才師になって、ぎょうさんの人を笑顔にして、世界を救いたいと思うてる。

そのために私が心がけているのは「ぼちぼち」だ。「ぼちぼち」とは、物事の程度などが十分とは言えないが、一応は満足できるさま、と国語辞典に書いてあった。これを聞いて、夢があるんならもっとしゃかりきならなあかんのうちやうん、と思われるだろう。たしかに、一生懸命になることも大切や。せやけど、「ぼちぼち」いくことで、近くにあるおもしろいことに気付けるとちゃうかなあ。人間一つのことにはしゃかりきになりすぎると、周りが見えんようになっておもしろいことに気づかれへんようになる。そしたら、しんどくなつてまう。そうならへんようには「ぼちぼち」、が大切や、思う。まして、漫才師は、おもしろいことを見つけて、それをみんなに伝える仕事やから、「ぼちぼち」を大切にしていかなあかん、って思う。

これからも夢の実現に向けて、「ぼちぼち」歩んでいきたい。